



愛川ふれあいの村 11月の風景

平成25年 11月 自然のたより

朝夕はグッと気温が下がり、冬の足音が聞こえてきます。昆虫は暖かい場所に移動を始め、越冬の準備を始めました。樹木も冬支度を始め、紅葉・黄葉させ、美しいグラデーションで村を彩っています。毎年、開催している村の「紅葉（こうよう）まつり」では、多くの人々の目を楽しませています。



イチヨウ並木のグラデーション



イロハモミジのグラデーション



カキをついばむメジロ



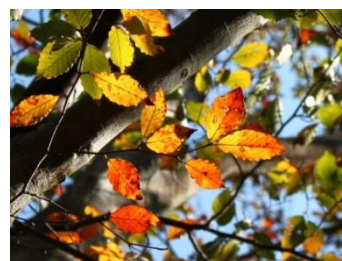
イロハモミジの紅葉



ニシシギの紅葉と実



ケヤキの褐葉



ブナの褐葉



ポプラの黄葉



クルミの黄葉



シラカバの黄葉



リンドウ



秋の野草 ミズヒキ



歩いているキセキレイ



オスのモズ



ヒメアカネ

★愛川ふれあいの村 紅葉・黄葉情報★

村内の旬な紅葉情報をお届けします！！

村内の紅葉する木は主に、イロハモミジ、トウカエデ、サクラです。また、黄葉する木はイチョウ、カツラ、メタセコイアです。

中でもしらかば棟とかわせみ棟の間のイチョウ並木とイロハモミジの並木は、青い空と高取山を背景に美しく映え、新聞や県のたよりに掲載されたこともあり、人気があります。

今年は10月中旬頃から徐々にイチョウが黄葉し、一足遅れてイロハモミジの紅葉が始まりました。日が当たる部分から美しいグラデーションが見られます。



★木の実のクラフト★

秋になり、足元を見るとドングリがたくさん落ちています。村にある代表的なドングリはクヌギ、コナラ、マテバシイ、スダジイ、シラカシの5種類。たくさん拾ってみると、大きさや形、色、模様、帽子と呼ばれる殻斗（かくと）など、種類によって違いがある事が分かります。

そのような違いを利用して、クラフトを楽しむことができます。ドングリに顔を描いて帽子をかぶせ、木の枝についたら、「森の合唱団」に大変身！他にも殻斗（かくと）とピスタチオの殻を組み合わせたら、かわいい「ひつじ」のできあがり！たくさん作れば動物園ができるかも？！

実りの秋だからこそできるクラフト。いろいろな木の実を集めて、クラフトを行ってみてはいかがでしょうか。



▲ドングリ5種類



▲森の合唱団とひつじ

発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611

HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・葉青芳・大瀧裕基子

文章：葉青芳・大瀧裕基子

漫画・イラスト：葉青芳

編集：葉青芳・加藤文昭

愛川ふれあいの村
で、検索★



「こうよう」まつりです。

